

## 令和5年産ときわにんにく販売報告会



ときわにんにく部会（対馬伸吾部会長）は7月16日、常盤支店で令和5年産ときわにんにく販売報告会を開きました。生産者や市場関係者ら約40人が出席し、販売金額2億4180万円（前年比81%）になったことを報告しました。

ハウス、露地、加工用を合わせた総出荷数量は193トン（同比77%）で、1kg当たりの平均単価は1252円（同比106%）となりました。



挨拶をする対馬部会長



出荷規格を確認する生産者

## 南八甲田高原野菜生産組合合同目揃え会



南八甲田高原野菜生産組合（小林喜代勝組合長）は7月23日、葛川野菜センターで根菜類と葉菜類の合同目揃え会を開きました。生産者や市場関係者ら約50人が参加し、大根、キャベツ、ハクサイの出荷規格を確認しました。

同組合では、独自の厳しい選果基準を設けるなど、品質を確保した野菜生産地づくりに取り組み、市場の評価を高めてきました。高原野菜の出荷は7月下旬に本格化し、10月いっぱいまで続きます。

## トマト中間販売報告会



尾上トマト部会（山口知治部会長）は8月2日、尾上青果センターでトマトの中間販売報告会を開きました。

生産者13人が出席し、市況情報や6月と7月の販売経過を確認。また、尾上グリーンセンターの営農指導員が今後の栽培管理について「7月下旬から、トマトキバガとオオタバコガの被害が散見されています。どちらも適用薬剤は同じなので、配布した適用薬剤一覧を参考にして、防除作業に努めてください」と呼びかけました。



トマトの販売について説明する職員